

## 教育勅語 子に刷り込むとは

無職

(京都府 88)

「朕惟<sup>わたくし</sup>ふに我が皇祖皇宗國を  
肇<sup>あ</sup>むる」と……」で始まる戦前  
・戦中の「教育勅語」。それを  
今の児児に唱和させる幼稚園が  
あり、経営する学校法人が新設  
計画する小学校名監校長に安倍  
晋三首相夫人が就任し、問題に  
なってから辞任したと、報道で  
知った。法人理事長は憲法改正  
を求める日本会議大阪の役員と  
いう。衝撃を受けている。  
不意に80余年前、小学1年だ  
つた自分を思い出した。入学と  
ともに、天皇を神とし、天皇の  
ために死ぬのが日本人道徳の神  
體と信じ込ませる教育勅語を覚  
えさせられ、育つた私。16歳で

特攻隊を目指す予科練（海軍飛行予科練習生）となり、心は真っ暗闇に。心は泣き叫んだ。

敗戦から70年余。日本人は日本国憲法を一字一句変えず守り抜いてきた。現代の天皇は教育勅語の天皇ではなく「人間」である。憲法によって日本の象徴となつた。神でも陸海軍を統帥する大元帥でもない。

世界に通用せず、時代錯誤な教育勅語。無垢な児児たちに唱和させるのは、心に刷り込むことである。ことあるうちに首相夫人までが、この罪深さに無頓着であることを「森友学園」問題はさらけ出した。児児らの心は今後どうなっていくだろう。たまらない気持ちになる。